

# 1

## いざというときに、AEDを正しく使えるか 心配です

《60歳代男性》



## 声

AEDは、コミセンや小中学校など市内各所に配備されているようですが、耐用期間などの管理はどうなっているのですか。また、中に取扱説明書が入っているようですが、いざというときに正しく使えるか心配です。

文書や取扱説明書に明記)しており、設置者や施設の管理者は、耐用期間のほか、日常点検、バッテリーや電極パッドの交換など、いざというときに正常な状態で機器を使用できるよう維持管理を行っています。

AEDは、初めての方でも使用できるよう、音声によるメッセージの指示に従いながら操作できますが、消防本部では、AEDを正しく使用する方法をはじめ、救命処置を行うための心臓マッサージ(胸骨圧迫)など、心肺蘇生の手順を身に付けるための救命講習を開催しています。講習会の日程などは、広報ちとせでお知らせしますので、皆さんも受講してみませんか。

## 答

AED(自動体外式除細動器)は、心肺停止状態の方を救うために有効な医療機器ですが、適切に管理しなければ、救命効果に大きな影響を与える恐れがあります。

製造販売業者は、使用環境や稼働時間、使用回数などを考慮してAEDの耐用期間を設定(機種ごと)に異なるため、添付

消防本部警防課警防係  
☎(23)0320

# 声のらん

「声のらん」は、主に「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。このほかに、皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、他の市民の方にも参考になる内容を採用させていただくため、全てを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8686 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】

# 2

## 介護施設の種類やサービス内容について教えてください

《70歳代女性》



## 声

介護保険制度の情報がほしいです。利用できる施設やサービスの内容、入所の条件などについて教えてください。

また、収入が少なくても入所できる施設はあるのでしょうか。

や身体状況などに応じて施設を利用できるサービスが複数あります。入所の申込先は、各施設を運営している事業者になります。入所の条件として、介護保険の手続きが必要になり、利用対象者を千歳市に住民登録がある方に限定している施設もあります。

施設の利用にあたっては、介護保険の利用者負担のほか、居住費や食費、生活費などの費用が必要になりますが、施設によっては、所得の低い方に対する負担軽減制度が利用できます。入所を希望するときは、事前に、千歳市保健福祉部高齢者支援課または市内5か所にある地域包括支援センターに相談してください。

## 答

介護保険制度では、日常生活で常時介護が必要なため自宅での介護が困難な方が入所する「特別養護老人ホーム」、認知症の方の入浴や排せつ、食事などの介護を行う「グループホーム」、医学的な管理のもとで看護、介護、リハビリを行う「介護老人保健施設」など、利用者の要介護度

高齢者支援課高齢福祉係  
☎(24)0295